

国際社会に羽ばたく人材を育てる 英語教育の充実に向けて

社会の急速なグローバル化が進展する中、異なる文化を持つ人々とのコミュニケーションや相互理解の重要性がますます高まっています。

市では、国際共通語である英語力の向上を図り、子どもたちが身に付けた英語力を生かして、国際社会で自分を豊かに表現し、他者と理解し合える姿を目指しています。

外国語指導助手などの配置

外国語指導助手(ALT)や英語教諭補助員を昨年度よりも増員して、英語教育の充実を図っています。

市内中学校には10人のALTが所属し、生徒の英語力アップや国際理解の促進に取り組んでいます。ALTは小学校にも巡回して、主に5・6年生への指導を行っており、児童たちが中学校に入学した後も安心して英語を学ぶことができる環境づくりに努めています。



ALTによる英語指導

小学校における英語教育

小学校では英語教諭補助員などのサポートの上、3～6年生で英語の授業を行っているほか、1・2年生にも英語に慣れ親しむことを目的とした教育を行い、小学校の6年間を通じて、英語を学ぶことができる環境をつくっています。

本年度からは、新たに「外国語教育アドバイザー」を配置し、各小学校での授業の様子を視察して、改善点などを提案・助言することで、英語教育の質の向上にも取り組んでいます。

実用英語技能検定(英検)3級の取得を支援

中学生の英検3級取得率向上を目指して、市内中学校の生徒を対象に、英検3級の受験料を在学中に2回まで補助する制度を設けています。

そのほか、夏休み期間にはあさひ市民センターで、外国語教育アドバイザーによる「英検3級受験対策補習講座」を開講しました。夏休み中にもかかわらず、多くの中学生が受講し、英検3級の合格に必要な知識や技能を学びました。



英検合格に向け熱心に学ぶ

広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第14回

1993年(平成5年)11月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

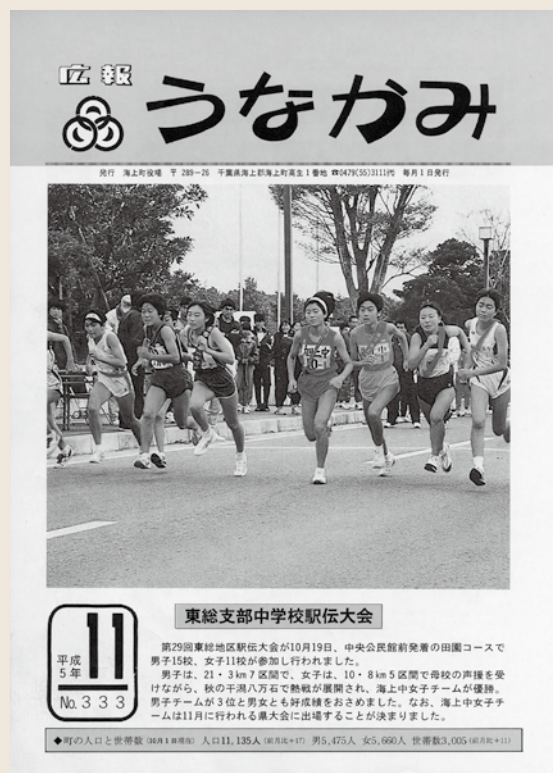
今回は広報うなかみ平成5年11月号を紹介します。

表紙は、中央公民館(現海上公民館)前を発着点として田園地帯のコースを走る東総支部中学校駅伝大会の様子です。例年秋に開催され、この年は女子の部で海上中が優勝し、県大会へと駒を進めました。

そのほか「秋の全国交通安全運動」期間中に開かれた「交通安全音楽の集い」を報じています。保育園児によるミュージカルや小学生の吹奏楽などが行われ、集まった人たちに交通安全を呼びかけました。



交通安全音楽の集い



表紙